

## 研究室紹介 久保研究室

千葉工業大学 教授 久保裕史

久保研究室は、千葉工業大学津田沼キャンパス（図 1）にあります。社会システム科学部プロジェクトマネジメント（PM）学科と、大学院の社会システム科学研究科マネジメント工学専攻に属します。私が企業から大学に移ってから 7 年余、学部生 57 名、大学院院生修士 3 名、博士 2 名が、本研究室から巣立っていきました。現在、学部 3、4 年生が 11 名ずつ、社会人の博士課程大学院生 7 名が本研究室に所属し、勉学や研究に励んでいます。



図 1 千葉工業大学津田沼キャンパス  
（津田沼駅前）

学部の講義科目は、ベンチャービジネス論、スケジューリング技法、ものづくりマネジメント、研究開発技法などを担当し、大学院の「戦略的 PM 特論」では、留学生たちの独特な英語の発音に悩まされながらも楽しく講義しています。

国内で唯一の PM 学科の目玉のひとつは、プロジェクト・ベースト・ラーニング(PBL)による実験や演習です。久保研が属するビジネス創成グループでは、PM 知識に基づき、一連のマ

ーケティングからビジネスモデル構築、5 年間の財務諸表による事業化計画立案、発表まで少人数チームでやりぬくことで、実践力を鍛えています。一方、他学科と共同での社会実装 PBL も実施しています。学生たちは、知識背景が異なるメンバーとの協働の難しさや、学外でのビジネスコンテスト上位入賞など、貴重な体験を積んでいます。



図 2. キャンパスベンチャーグランプリでの上位入賞

3 年生のゼミでは、ドラッカーの「マネジメント」を輪講しています。彼らの長い人生において役立つ、本質的な知識を与えてくれる名著です。



図 3. 研究室でのゼミ風景

P2M マガジン No.4、pp.14-15 (2017)  
 久保研の研究領域を図 4 に示します。

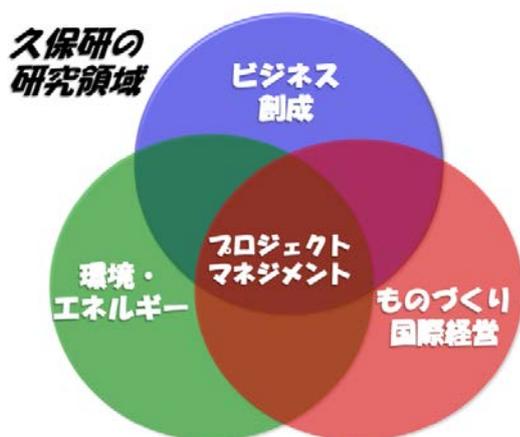


図 4. 久保研究室の主な研究領域

PM を中心に、ビジネス創成、ものづくり国際経営戦略、環境・エネルギーなど、広い分野で研究を進めています。その背景には、私の製造企業における長年の研究開発や新事業開発における経験や問題意識があります。学生たちの卒論、修論、博論の研究テーマも、この領域で様々な広がりを見せています。



図 5. R&D プロジェクトマネジメント・シンポジウムの会場風景

PM 分野では、顧客価値を創造する研究開発 (R&D) プロジェクトマネジメントの研究に注力しています。2012年に、現在の「R&D PM 研究会」を立ち上げ、同じ志と問題意識を持つ産官学の研究者や技術者、技術経営者等の方々と活動を共にしています。その成果は、約 20 本の査読

論文や約 50 件の学会発表等で、公表してきました。今後は、「Society 5.0」実現に貢献すべく、R&D と IT 技術が緊密に連携する P2M を研究していく予定です。

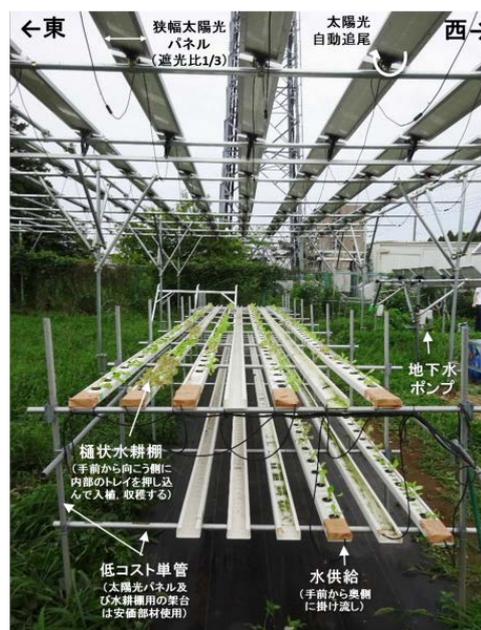


図 6. 水耕ソーラーシェアリングの実験設備

環境・エネルギー分野では、「創・蓄・省」(太陽光発電、リチウムイオン電池、白色 LED) の三分野におけるものづくりの国際経営戦略を、アーキテクチャ、組織能力、産業地理学の視座から研究してきました。現在は、この分野の研究の軸足を、独自の水耕ソーラーシェアリング・システム (図 6) へと移し、ベンチャー企業育成や第 6 次産業化による地方創生に貢献させようとしています。本分野でも P2M は極めて有用であり、今後、事例研究を深めていく予定です。